



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラ

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC12 月第 2 例会 (2015.12.8) No.3113

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

坂口謹一郎

明治三十年（1897）～平成六年（1994）

上越市中城（旧・高田市中城）に生まれる。

父・正利、母・マツの長男として誕生、坂口家は、石油精製業にあたるなど名家の長男として育てられた。明治四十三年、高田中学校に入学するが、小児マヒにかかり一時学業を中断する。

「私は、中学に入学して四ヶ月目に突然、小児マヒにかかって歩行困難になり、それ以後の四年間は全く家にこもりきり。読む本といえば、毎月送ってくる「国民中学会」の講義録という中学過程の通信教育だけになってしまった。」

その後、大正二年、東京神田順天中学に編入学、以後、東京での生活となった。

第一高等学校理農工専攻、大正八年、東京帝国大学農学部（現・東京大学）に入学、農芸化学を専攻した。

大学を卒業すると学校に残り、農学部副手として、発酵学の研究に没頭し、数々の研究論文を発表している。

「麹カビによる有機酸および酒精の生産に関する研究」と「菌類による有機酸類の生産ならびにその工業的利用に関する研究」で、農学博士、日本農学賞を受賞、昭和二十五年、「本邦産発酵菌類に関する研究」で、日本学士院賞を受賞している。

謹一郎の功績は、我が国独自の発酵学を確立、酒の研究を世界に広げ、日本酒の持つ古代からの醸造の奥深さ、伝統的な酒造りの制法、発酵菌の利用方法、分析を通して酒がその国の文化であることを証明した。

謹一郎は、また、我が国のワインの本格的事業に大きく貢献した、サントリーの鳥井信治郎、ワインの父・川上善兵衛を結びつけた

「縁結びの神」で、今日の我が国のワイン造りの基礎を築いた。

昭和十四年には、東京帝国大学農学部教授に就任し、発酵学、細菌学の研究に全精力を集中した。戦時中は、出身地の上越市（大養村鶴ノ木）に拠点を移したが、戦後は、現在の理化学研究所の主任研究員、東京大学農学部長、理化学研究所副理事長を務めるなど、発酵学の世界的権威と

なり、フランス国コマンドール勲章受章、昭和四十二年、文化勲章に輝いている。

「応用微生物学」を、その後のテクノロジーの時代に向けた先鞭をつけた点で評価されている。

多くの書物を残し郷土のパイオニアを讃えている。

「日本のブドウ酒の品質も、国際的レベルに近づいてきたといえましょう・・・これというも、明治以来全財産をなげうって、一生涯をブドウ酒用ブドウの品種改良にささげた故川上善兵衛氏や、そのほかの熱心家の努力がようやく実を結び、雨の多い日本の風土にも適する良品種が緒についたことと、栽培技術の進歩で、温室でなければ栽培できなかったフランスの優良種の露地栽培がある程度可能になってきたおかげです」

また、歌人としても多くの歌を作っており、酒の歌は多く、著書「愛酒楽酒」では、多くの短歌を披露している。

「うま酒は うましともなく 飲むうちに
酔ひてののちも 口のさやけき」

「これのよを たのしくせむと
うまさけの 究めのみちに
いのちかけさす」

「うまさけの きわめのみちゆ
生れいでし ミクロの学は
いやさかえなむ」

「のど越しの 水に似しとや
この酒を 越しの寒梅とは
げにや名つけし」

そして、昭和五十年の「歌会始」の召人に選ばれ、皇居でお題「祭」の歌が披露された。

「いそしみて いや醸み継がむ
にいなめのまつりのはの
しろきくろきを」

名実共に「酒博士」に相応しく、皇室に伝わる伝統行事「新嘗祭」の際に献上される“しろきくろき”の酒を詠んだ歌で、厳粛な神殿で行われる伝統儀式的雰囲気余すところなく読んでいる歌である。

平成六年冬、坂口謹一郎は、九十七歳の生涯を終えた。

ふるさとの上越市頸城区鶴ノ木に「坂口記念館」が建設され、「酒杜り館」「楽縫館」「雪椿園」「留春亭」があり、

酒についての情報や試飲が出来るようになっている。

雪椿を好んだ謹一郎を讃えるかのように五百種を超える雪椿を育てた。雪国に可憐な花を咲かす雪椿百本余と共に歌碑が建立されている。

「こしのくにの しるしのはなの

雪椿 ともがきこぞりて

植ゑみてませり」

日本酒が今日、世界の輸出商品として海外に進出する機運が出てきたことで、酒造メーカーは、国内外の販売に方針転換を求められている。

新潟県で年間百万本（1.8ℓ瓶換算）が輸出されている。東南アジア、アメリカ、ヨーロッパ、世界を回っている。淡麗辛口の県産酒の動きを謹一郎はどの様に分析するか。

酒博士が語った「名酒」の名酒たる所以について「喉にさわりなく、水の如く飲める酒」。

(3) ゲストの紹介

・丸運建設(株)総務部係長 南木 久さん

(4) ビジターの紹介

・渡邊 肇君(宇都宮RC)

(5) ロータリーの友紹介(山田 眞広報委員長)

(6) 委員会報告

・斎藤庫之丞社会奉仕委員長より NHK 歳末助け合いのお願い 毎年恒例で皆様をお願いしております、NHK歳末助け合い募金にご協力いただきたく、これから事務局がまわりますので、よろしくお願い致します。

(7) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

小飯田 澄雄君

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

宇尾野 隆君 徳永 昭輝君

小飯田 澄雄君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

後藤 司郎君 小飯田 澄雄君

樋熊 紀雄君 小林 悟君

(8) ニコニコボックス紹介(白勢 仁士委員長)

・小飯田 澄雄君 結婚祝いの御花ありがとうございました。夫婦でニコニコ、感謝です。

・高橋 秀松君 過日、ロータリーの友事務局の野崎恭子さんと会食の機会がありました。新潟RCの皆さんによりしくとの事でした。

・塚田 正幸君 先月 12 日～13 日、牛乳業界の研修視察が盛岡であり JR 白山駅で白山～新潟～大宮～盛岡の往復乗車券と新潟～盛岡の新幹線往復指定券を購入して出かけました。盛岡から帰る途中仙台駅で友人と会うため下車しましたが、自動改札機で乗車券をうっかり取り忘れ出

てしまいました。そして駅員に白山駅で運賃精算するからと再び新幹線で帰ってきました。白山駅で事情を説明して仙台～白山間の乗車賃を払おうとしたら、駅員さんがわざわざ仙台駅まで電話して白山駅発行の盛岡～白山の取り忘れ乗車券ないか問い合わせしたところ、ありました！私のミスでしたが駅員さんの心温まる対応がとてうれしかったです。そして 9,600 円払わずに済みました。白山駅の駅員さんに心から感謝して 9600 円ニコニコします。

(9) 第 48 回米山功労クラブ感謝状の披露

(10) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

・NHK 歳末助け合い募金 62、202 円の御協力を頂きました。ご協力ありがとうございました。会長よりNHK坂本局長へ託しますので、よろしくお願い致します。(坂本局長より謝辞)

・恒例の新潟市内 7RC 合同例会案内がホストの新潟万代クラブより届きました。2016 年 2 月 23 日 午後 6 時 30 分開会 会場はホテルオークラ新潟です。後日、詳しいご案内をお送り致します。

(11) 「浪江町訪問報告」

小田社会奉仕担当理事

(12) 12 月 8 日例会の出席率 74.49 %

会員数 98 名(出席免除会員 9 名)

出席者 70 名(出席免除会員 5 名を含む)

(2 週間前メーク後 84.04 %)

12 月 22 日の例会予定

会員スピーチ「昨今のホテル事情」

㈱イタリア軒 代表取締役社長 岡田 茂久君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>